

平成 21 年度

電気通信サービスに係る
内外価格差に関する調査

総 務 省
総合通信基盤局

目次

I 調査の対象及び方法	1
1 調査対象サービス	1
2 調査対象都市	1
3 調査対象事業者	1
4 調査方法等	2
II 調査結果	3
1 インターネット(個別料金、電話等とのセット利用時の比較)	3
1) 個別料金による比較	3
(1) DSL	3
(2) CATVインターネット(月額料金)	4
(3) FTTH(月額料金)	5
2) 電話等とのセット利用時の比較	6
(1) ブロードバンド、IP電話の利用(モデルによる比較)	6
(2) ブロードバンド、電話、TVの利用(モデルによる比較)	7
2 固定電話	8
1) 個別料金による比較	8
(1) 基本料	8
(2) 加入時・移転時の費用	10
(3) 市内通話料金	11
2) OECD モデルによる比較	13
(1) 住宅用	13
(2) 事務用	15
3 携帯電話(東京モデルによる比較)	16
1) 低利用者	16
2) 中利用者	16
3) 高利用者	17
4 国際電話(個別料金による比較)	24
通話料金(3分間に換算)	24

I 調査の対象及び方法

1 調査対象サービス

インターネット(DSL、CATV、FTTH)、固定電話、携帯電話(データを含む)、国際電話(固定及び携帯電話)、IP電話、TV(通信事業者によるもの)、FMCサービス

2 調査対象都市

東京、ニューヨーク、ロンドン、パリ、デュッセルドルフ、ストックホルム、ソウルの7都市

3 調査対象事業者

原則として、各都市で最もシェアの高い事業者を選定。

	インターネット			
	DSL	CATV	FTTH	ブロードバンドと電話等とのセット利用時の比較
東京	・NTT東日本 ・ソフトバンクBB	J:COM	NTT東日本	NTT東日本
ニューヨーク	Verizon Communications	Time Warner	Verizon Communications	・Verizon Communications ・Vonage
ロンドン	British Telecom	Virgin Media	-	British Telecom
パリ	France Telecom	Numericable	France Telecom	France Telecom
デュッセルドルフ	Deutsche Telekom	Tele Columbus	Deutsche Telekom	Deutsche Telekom
ストックホルム	Telia Sonera	Com Hem	Bredbandsbolaget	Telia Sonera
ソウル	KT	SK Broadband	KT	KT

	携帯電話	固定電話	国際電話
東京	NTTドコモ	・NTT東日本 ・NTTコミュニケーションズ	NTTコミュニケーションズ
ニューヨーク	Verizon Wireless	・Verizon Communications ・AT&T	AT&T
ロンドン	Vodafone	British Telecom	
パリ	Orange France	France Telecom	
デュッセルドルフ	T-Mobile	Deutsche Telekom	
ストックホルム	Telia Sonera	Telia Sonera	
ソウル	SK Telecom	KT	

4 調査方法等

1) 調査方法

調査対象都市において調査対象事業者が提供している調査対象サービスの料金を、公開情報、事業者ヒアリング等により収集し、個別料金及びモデル料金¹により比較し、内外価格差を調査。

- ① インターネット : 個別料金による比較、電話等とのセット利用時の比較
- ② 固定電話 : 個別料金による比較(基本料、加入時・移転時の費用、市内通話料金)
OECDモデルによる比較
- ③ 携帯電話 : 東京モデルによる比較
- ④ 国際電話 : 個別料金による比較

2) 間接税(消費税・付加価値税)の扱い

個別料金による比較については、税別価格を表示。

モデル料金による比較、電話等とのセット利用時の比較については、税込価格を表示。

各都市の消費税率

東京	ニューヨーク	ロンドン	パリ	デュッセルドルフ	ストックホルム	ソウル
5%	11.625%	17.5%	19.6%	19%	25%	10%

3) 調査時期

基本的に平成22年(2010年)3月末時点の料金を比較。

ただし、それ以降の料金改定の最新情報が入手できたものについては最新の料金。

4) 換算為替レート

平成22年3月末時点のTTSレート(対顧客売外国為替相場)により比較を行った。

(円)

	米 (ドル)	英 (ポンド)	仏 (ユーロ)	独 (ユーロ)	スウェーデン (クローナ)	韓国 (ウォン)
今回調査 (平成22年3月末)	93.27	141.27	125.30		12.85	0.0824
(参考) 購買力平価(平成22年)	114.98	173.84	125.43	134.52	12.30	0.149
(参考)前回調査 (平成21年3月末)	98.31	140.68	130.52		11.84	0.0712

(出所)換算為替レート: 外国為替相場市況、日本銀行金融市場局、IMF Representative Exchange Rates for Selected Currencies for March 2010

購買力平価: OECD OECD.stat Extracts, PPPs and exchange rates, PPP for GDP

注) 結果には端数計算による誤差含む。また端数の関係で、グラフ中に表記された各値と、合計値が一致しない場合がある。

¹ 本調査におけるモデル料金とは、各都市の通信料金を比較するために、時間帯、距離帯別にそれぞれ何回通話する、といった仮想の利用形態(モデル)を設定し、このモデルに従って通信サービスを利用した場合に要する料金を指す。OECDモデルは、OECDが料金比較のために設定したモデル。東京モデルは、日本の利用実績によるモデル。

II 調査結果

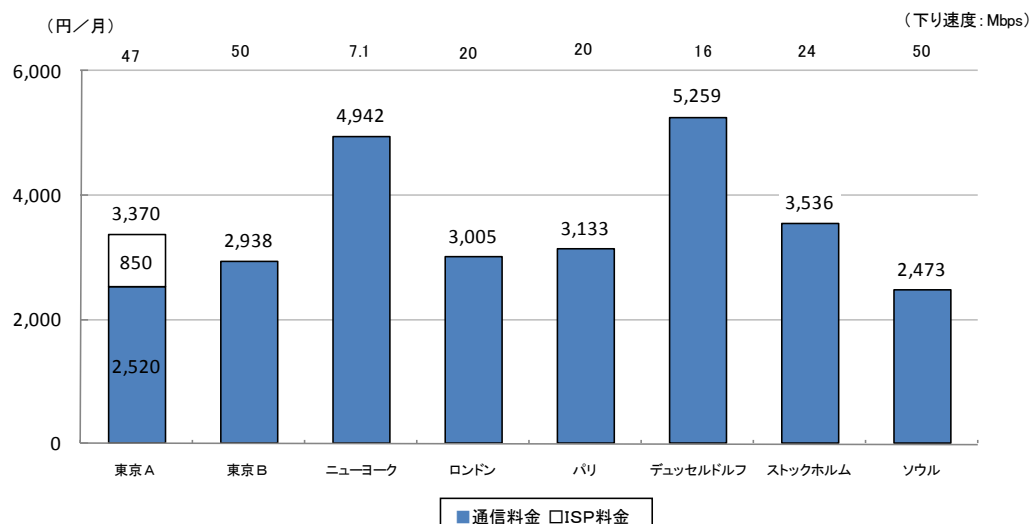
1 インターネット(個別料金、電話等とのセット利用時の比較)

1) 個別料金による比較

- DSLについて、東京Aは平均的な水準であり、東京Bは低廉な水準にある。通信速度は、東京Bが最大50Mbpsであるのに対し、欧米各都市は7.1M~24Mbpsであり、1Mbps当りに換算して比較すると、東京はソウルに次ぎ、低廉な水準にある。
- CATVインターネットについて、東京は高い水準にあるが、通信速度は最高であり、1Mbps当りに換算して比較すると、東京はパリ、ソウルに次いで低廉な水準にある。
- FTTHについて、東京2(集合住宅向け)はストックホルム、ソウルと並び低廉な水準にある。

(1) DSL

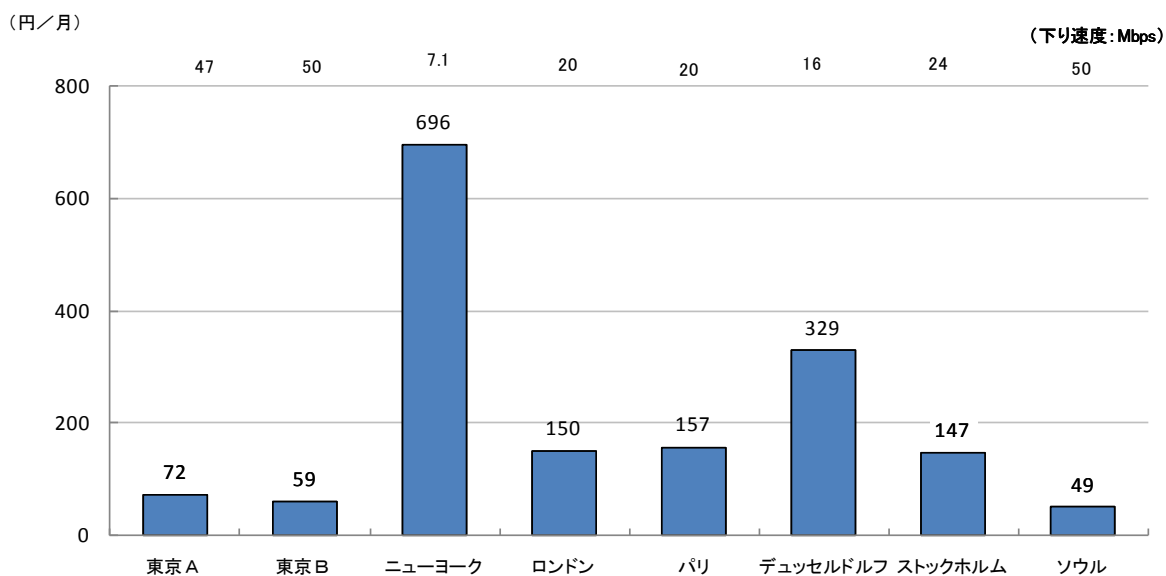
①月額料金



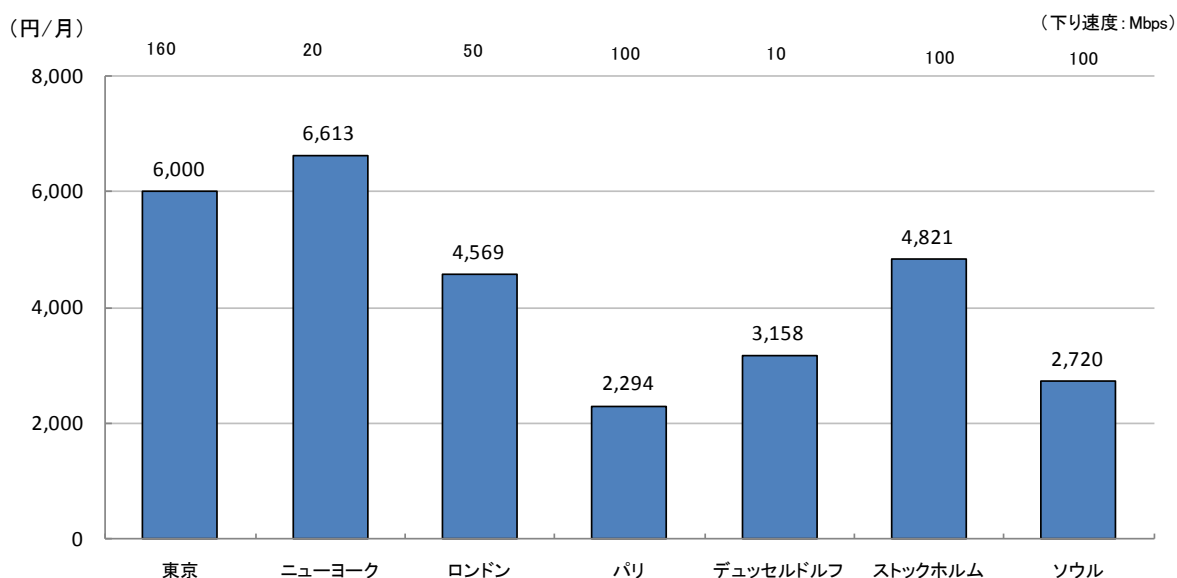
注1) 1ヶ月間常時接続した場合の料金(モデムリース料金を除く)。

- 2) 各都市とも、住宅用サービスメニューの中で下りの最大通信速度が最も速いメニューで比較。
- 3) 東京Aは、NTT東日本のフレッツADSLモアⅢ(マイライン登録の場合の通信料金:2,520円)+ NTTぶららのフレッツ・ADSLセット(ISP接続料金:850円)。
東京Bは、ソフトバンクBBのYahoo!BB ADSL 50M(通信料金+ISP接続料金:2,938円)。
- 4) ニューヨークは、Verizon CommunicationsのVerizon Online DSL Turbo plan(通信料金+ISP接続料金:52.99ドル)。
- 5) ロンドンは、BTのBT Total Broadband Option 3(12ヶ月契約、通信料金+ISP接続料金:21.27ポンド)。
- 6) パリは、FTのFormule Plus(12ヶ月契約、通信料金+ISP接続料金:25.0ユーロ)。
- 7) デュッセルドルフは、PSTN電話基本料、国内通話を含む形態で提供されている。T-HomeのCall & Surf Comfort Plus(24ヶ月契約、通信料金+ISP接続料金+PSTN電話基本料+国内固定宛無制限通話:41.97ユーロ)。
- 8) スtockホルムは、TeliaSoneraのADSL 24Mbps(18ヶ月契約、通信料金+ISP接続料金:275.2クローナ、TeliaSoneraの固定電話契約者の場合の料金)。
- 9) ソウルは、KTのQOOK Internet Lite(通信料金+ISP接続料金:30,000ウォン)。

② DSL(1Mbps 当たりの料金)



(2) CATVインターネット(月額料金)



注1) 1ヶ月間常時接続した場合の料金(ケーブルモデムリース料金を含む)。

2) 各都市とも、住宅用サービスメニューの中で下りの最大通信速度が最も速いメニューで比較。

3) 東京は、J:COM東京 J:COM NET ウルトラ 160M コース(160Mbps、6,000円)。

4) ニューヨークは、Time Warner Road Runner Extreme(20Mbps、70.90ドル)。

5) ロンドンは、Virgin Media Size:XXL(12ヶ月契約、50Mbps、32.34ポンド)。

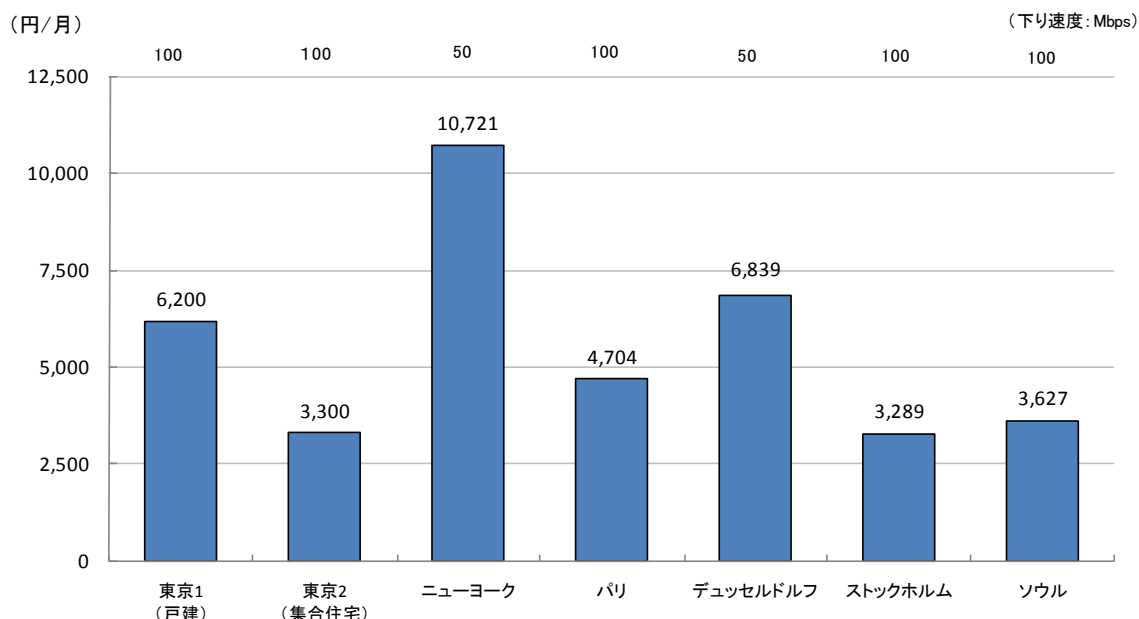
6) パリは、numericable Internet Ultra Haut Débit(12ヶ月契約、100Mbps、18.3ユーロ)。

7) デュッセルドルフは、Tele Columbus Internet 10000(10Mbps、25.20ユーロ)。

8) ストックホルムは、Com Hem Bredband XXL 100(100Mbps、375.2クローナ)。

9) ソウルは、SKBroadband B Internet 光LAN(100Mbps、33,000ウォン)。

(3) FTTH(月額料金)



注1) 1ヶ月間常時接続した場合の料金(機器リース料金を含む)。

2) 各都市とも、住宅用サービスメニューの中で下り100Mbps(最大通信速度が100Mbps以下の場合是最も速いメニュー)で比較。

3) 東京1は、ぷらら光メイトwithフレッツファミリータイプ6,200円(100Mbps、通信料金5,200円+ISP接続料金1,000円)。

東京2は、同マンションタイプ3,300円(最大100Mbps、通信料金2,500円+ISP接続料金800円、プラン2LAN配線方式の場合)。

4) ニューヨークは、Verizon FiOS Internet Service Fastest (50Mbps、114.95ドル)。

5) ロンドンにはサービスなし。

6) パリは、FT La fibre plus(12ヶ月契約、100Mbps、37.54ユーロ、無料のTéléphonie illimité(固定宛通話無料、1時間までの携帯電話宛無料)と120chのTV視聴を含む)。

7) デュッセルドルフは、VDSLサービス。DT Entertain Comfort VDSL50(24ヶ月契約、50Mbps、54.58ユーロ)国内固定電話宛無料のPSTN電話と70chのTV視聴を含む。

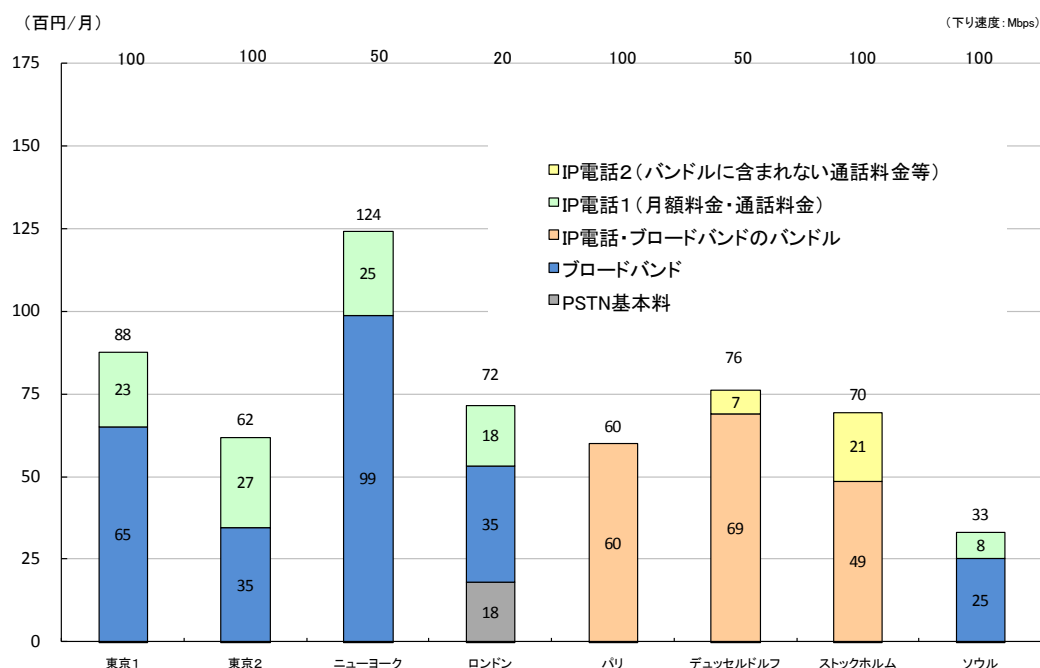
8) スtockホルムは、Bredbandsbolaget Bredband 100(12ヶ月契約、100Mbps、256クローナ)。

9) ソウルは、KTのQOOK Internet Special(通信料金+ISP接続料金、100Mbps、36,000ウォン+機器料金8,000ウォン)。

2) 電話等とのセット利用時の比較

- ブロードバンド、IP電話の利用について、東京2(集合住宅向け)は、ソウル、パリに次いで低廉な水準にある。
- ブロードバンド、電話、TVの利用について、東京2(集合住宅向け)は、低廉な水準にある。

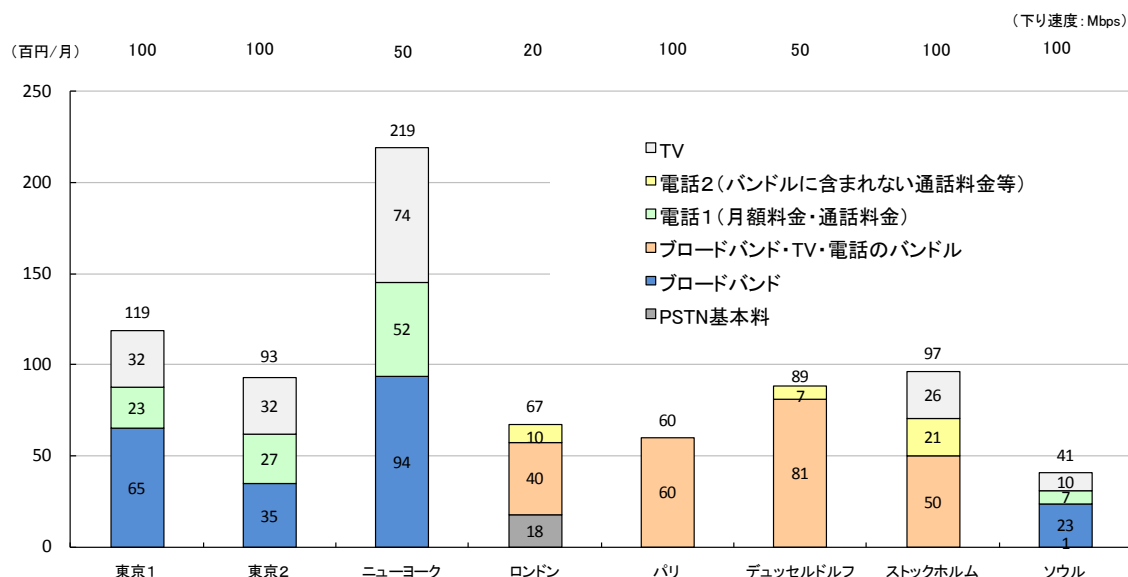
(1)ブロードバンド、IP電話の利用(モデルによる比較)



注1)各都市の100MbpsのFTTH(該当サービスがない場合は最高速度のFTTH、DSL)を利用して、固定電話のOECDモデル同様の、距離帯、時間帯、固定網・携帯網への利用別に通話回数、通話時間を設定したモデルに従って、IP電話を利用した場合(固定電話へ1月76.5回 計336.4分、携帯電話へ1月23.5回 計44.17分)に要する月額料金を比較。機器レンタル料金・ユニバーサルサービス料等を含む。税込。

- 2)東京1、2は、ぷらら光メイトwithフレッツ(FTTH、100Mbps、東京1はファミリータイプ、東京2はマンションタイププラン2LAN配線方式)とひかり電話基本プラン。
- 3)ニューヨークは、Verizon Fios Internet (FTTH、50Mbps、12ヶ月契約)とVonage Basic 500(国内通話無料)。
- 4)ロンドンは、BT Total Broadband Option 3(ADSL、20Mbps、12ヶ月契約)とBT Broadband Talk Anytime Plan (固定電話宛通話無料)。
- 5)パリは、FT La Fibre Plus(100Mbps、12ヶ月契約)。無料のTéléphonie illimité(固定宛通話無料、1時間までの携帯電話宛無料)と120chのTV視聴を含む。
- 6)デュッセルドルフは、T-HomeのCall & Surf Comfort VDSL(VDSL、50Mbps、固定宛通話無料のIP電話のバンドル、24ヶ月契約)。
- 7)ストックホルムは、Telia Bredband FiberLan(FTTH、100Mbps)とTelia Bredbandstelefonti(IP電話)のバンドル(契約期間18ヶ月)。価格は、テリア社が住宅管理協会等に提示する基準価格であり、エンドユーザー料金は上記と異なる場合もある。IP電話の通話料金には割引通話プランのKväll & helg適用。
- 8)ソウルは、QOOK Internet Special (FTTH、100Mbps、36ヶ月契約)とQOOKインターネット電話。(36ヶ月契約)。

(2)ブロードバンド、電話、TVの利用(モデルによる比較)



注1)各都市で、

- ①各都市の100MbpsのFTTH(該当サービスがない場合は最高速度のFTTH、DSL)を利用し、
 - ②固定電話のOECDモデル同様の、距離帯、時間帯、固定網・携帯網への利用別に通話回数、通話時間を設定したモデルに従って、PSTN電話またはIP電話を利用し(固定電話へ1月76.5回 計336.4分、携帯電話へ1月23.5回 計44.17分)、
 - ③通信事業者によるテレビ(数十チャンネル以上)のサービスを利用、
した場合の月額費用(税込)。公共放送の受信料は除く。専用ハブ等の機器レンタルやユニバーサルサービス料等が必要な場合にはその費用を含む。
TVのチャンネル数は概数。そのほかにVOD等の各種サービスも利用可。
- 2)東京1、2はぷらら光メイトwithフレッツ(FTTH、100Mbps、東京1はファミリー、東京2はマンションタイププラン2LAN配線方式)、ひかり電話基本プラン、ひかりTVテレビおすすめプラン(専門チャンネル40ch以上と地上デジタル9ch)。
 - 3)ニューヨークは、Verizon Fios Internet (FTTH、50Mbps、12ヶ月契約)、Verizon Freedom Essentials (PSTN電話、基本料と国内電話宛無料通話を含む)、12ヶ月契約)、FiOS TV Prime HD(260ch)。12ヶ月契約なしの料金は表記より割高となる。電話料金にはPSTN基本料を含む。
 - 4)ロンドンは、BT Talk and Surf Unlimited (BT Total Broadband option 3、ADSL、20MbpsとUnlimited Anytime Plan、固定電話宛通話無料のバンドル、18ヶ月契約)で、IPと地上波デジタルテレビの複合STBでBT Vision(FreeView、無料、40ch)を利用する場合の料金。
 - 5)パリは、FT La Fibre Plus(100Mbps、12ヶ月契約)。追加費用なしに120chのTV視聴、IP電話 Téléphonie illimité(固定電話宛通話無料、1時間までの携帯電話無料通話を含む)が利用できる。
 - 6)デュッセルドルフは、Entertain Comfort VDSL50(VDSL、50Mbps、PSTN電話基本料・国内固定電話宛無料通話、100chのTV視聴含む、24ヶ月契約)。
 - 7)ストックホルムは、Telia Bredband FiberLan(FTTH、100Mbps)とTelia Bredbandstelefonti(IP電話)、Kanalpaket Start(TV 6ch)のバンドル(契約期間18ヶ月)を利用し、IP電話は割引通話プランのKväll & helgを、TVは39ch視聴可能なオプションKanalpaket Storを利用。
 - 8)ソウルは、QOOK Internet Special (FTTH、100Mbps、36ヶ月契約)と全国統一料金制(PSTN電話、36ヶ月契約)、QOOK TV 基本プラン(76ch)のバンドル割引料金(36ヶ月契約)。各費用はバンドル割引後の料金。36ヶ月契約なしの料金は表記より割高となる。

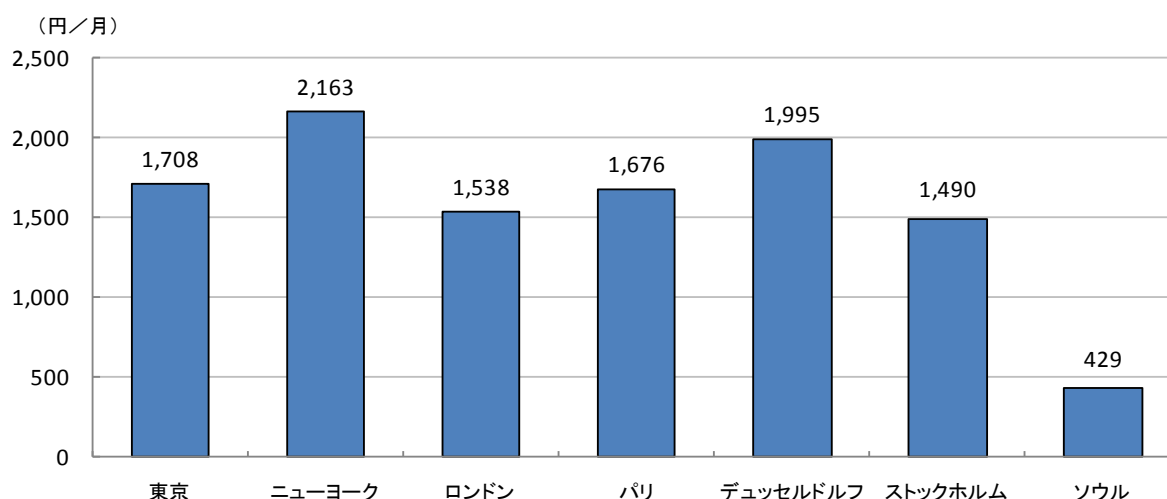
2 固定電話

1) 個別料金による比較

- 基本料について、東京は、住宅用は平均的な水準であり、事務用はニューヨーク、パリと並んで高い水準にある。
- 加入時一時金について、東京は最も高いが、移転時の費用についてはソウルに次ぐ低廉な水準にある。
- 市内通話料金について、東京は、昼間はソウル、ニューヨークに次いで低廉な水準にあり、夜間は平均的な水準である。
- ただし、各都市とも、月額基本料金に一定の通話料金を含むプランや通話料金が通話時間、通信距離によらないプランなど多様な料金体系が導入されており、個別料金による単純な比較は困難な状況となっている。

(1) 基本料

① 基本料(住宅用:月額)



注1) NTT東日本の住宅用3級局(加入者数40万人以上の区分)の基本料との比較。東京はユニバーサルサービス料8円/月を含む。なお、2級局(加入者数5万人以上40万人未満)では1,558円、1級局(加入者数5万人未満)では1,458円(いずれもダイヤル回線)である。また、料金明細の発行をオンラインのみにした場合、上記より110円割引となる。

2) ニューヨークは、基本料15.80ドル+アクセスチャージ6.41ドル+州際ユニバーサル基金の付加料金0.98ドル。

ロンドンは、Unlimited Weekend Plan 3ヶ月分の基本料32.65ポンドの1ヶ月分10.88ポンド(自動引き落とし以外の支払いには別途1.5ポンド必要)。

パリは、Abonnement principal 13.38ユーロ。

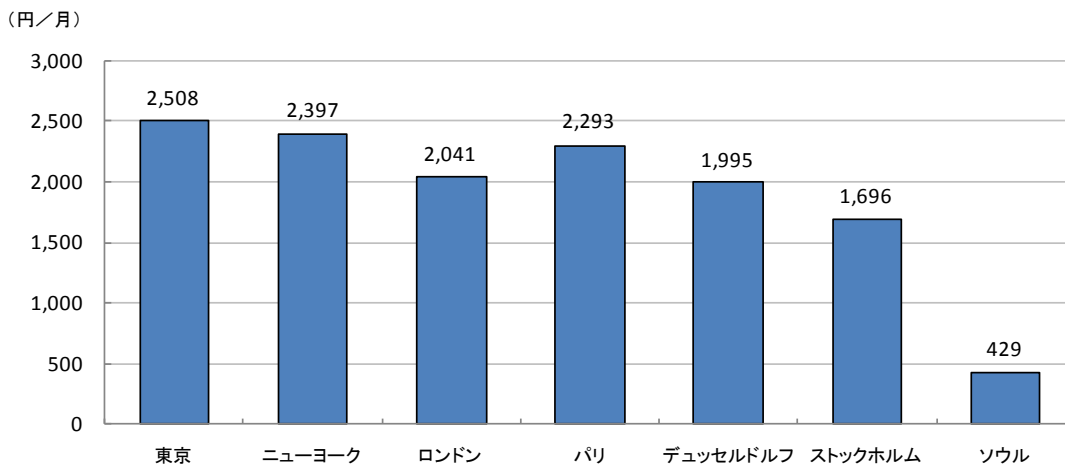
デュッセルドルフは、Call Plus 15.92ユーロ。

ストックホルムは、116クローナ。

ソウルは、5,200ウォン。

3) 通信料金定額制などの各種料金プランがある場合であっても、他都市と比較するため、月額基本料に通話料を含まないプランの基本料金で比較。

② 基本料(事務用:月額)



注1) NTT東日本の事務用3級局(加入者数40万人以上の区分)の基本料との比較。東京はユニバーサルサービス料8円/月を含む。2級局(加入者数5万人以上40万人未満)では2,358円、1級局(加入者数5万人未満)では2,308円(いずれもダイヤル回線)である。また、料金明細の発行をオンラインのみにした場合、上記より110円割引となる。

2) ニューヨークは、基本料17.59ドル(24ヶ月契約の場合。契約期間内に解約する場合は違約金の支払いが必要な場合がある。契約期間がない場合は21.45ドル)+アクセスチャージ6.41ドル+州際ユニバーサル基金の付加料金1.70ドル。

ロンドンは、3ヶ月分の基本料43.35ポンドの1ヶ月分14.45ポンド(24ヶ月契約の場合。契約期間内に解約する場合は違約金の支払いが必要な場合がある。12ヶ月契約の場合は3ヶ月分45.72ポンド、1ヶ月分15.24ポンド)。

パリは、Contrat Pro 18.3ユーロ。

デュッセルドルフは、Call Plus 15.92ユーロ。

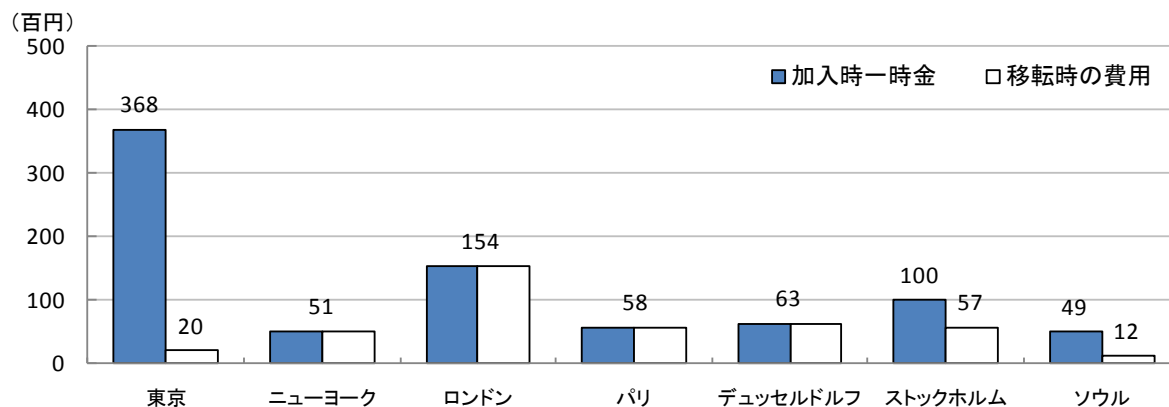
ストックホルムは、132クローナ。

ソウルは、5,200ウォン。

3) 通信料金定額制などの各種料金プランがある場合であっても、他都市と比較するため、月額基本料に通信料を含まないプランの基本料金で比較。

(2) 加入時・移転時の費用

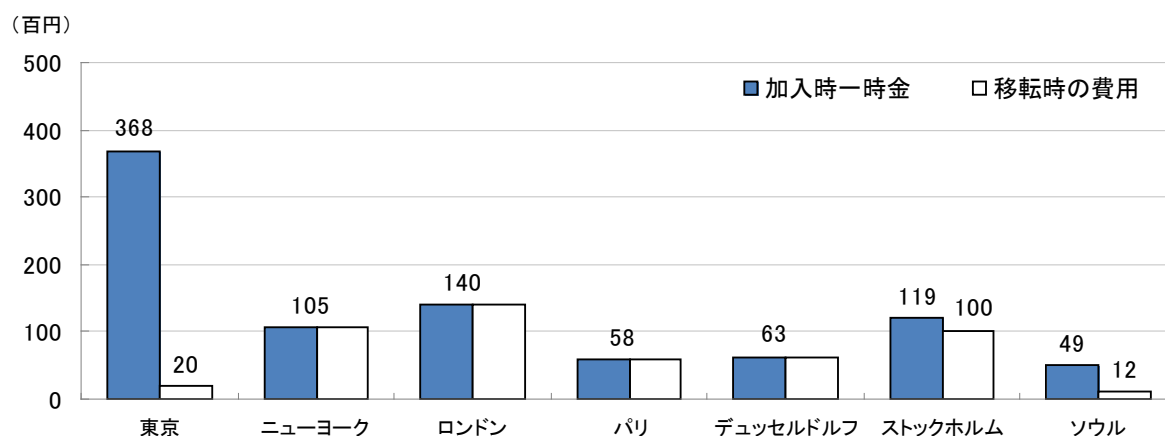
① 加入時・移転時の費用(住宅用)



注1) 白抜きは移転時の費用。なお、東京、ストックホルム、ソウル以外の各都市は加入時一時金と移転時の費用が同額。

2) 東京の加入時一時金は、施設設置負担金(36,000円)と契約料(800円)。なお、施設設置負担金に代えて月々の基本料に250円を加算するライトプランも選択可(平成21年度においては、新規加入者(住宅用、事務用合算)の約99%がライトプランを選択)。

② 加入時・移転時の費用(事務用)



注1) 白抜きは移転時の費用。

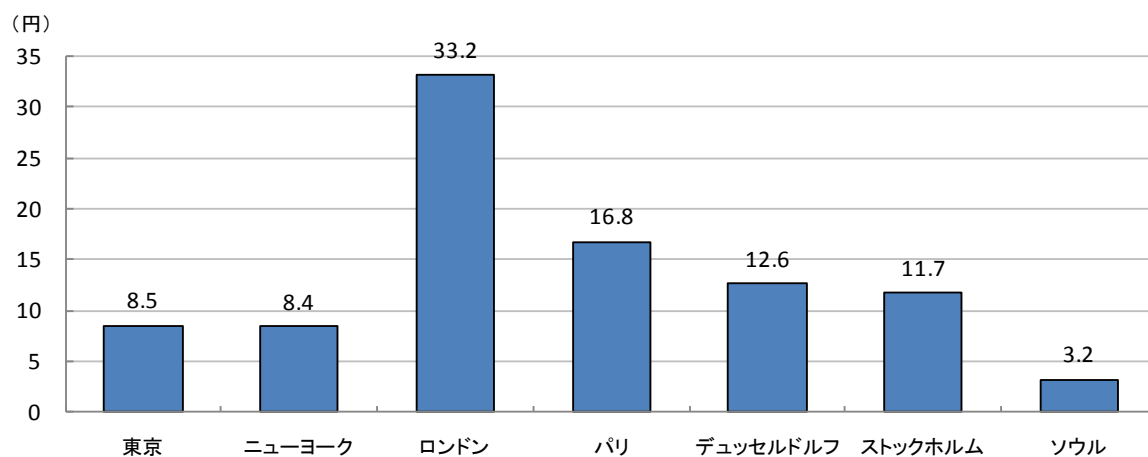
なお、東京、ストックホルム、ソウル以外の各都市は加入時一時金と移転時の費用が同額。

2) 東京の加入時一時金は、施設設置負担金(36,000円)と契約料(800円)。なお、施設設置負担金に代えて月々の基本料に250円を加算するライトプランも選択可(平成21年度においては、新規加入者(住宅用、事務用合算)の約99%がライトプランを選択)。

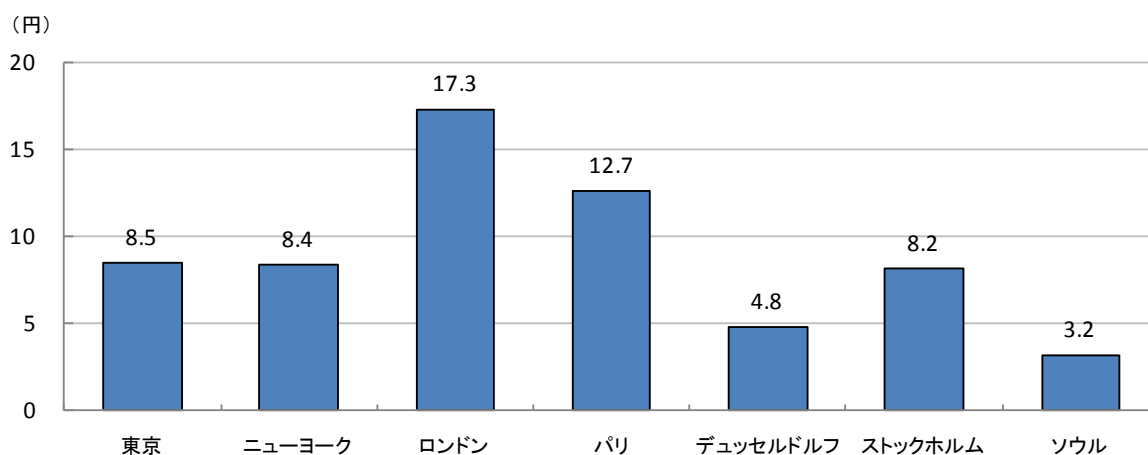
3) ロンドンは99.00ポンド(24ヶ月契約の料金。契約期間内に解約する場合は違約金の支払いが必要な場合がある。12ヶ月契約の場合106.37ポンド)。

(3) 市内通話料金

① 市内通話料金（平日 12 時に 3 分間通話した場合の料金）



② 市内通話料金（平日 20 時に 3 分間通話した場合の料金）



注1) NTT東日本の区域内通話料金との比較。

- 2) 平日12時の料金について、ニューヨークは0.09ドル/1通話、ロンドンはUnlimited Weekend Plan 0.235ポンド/3分、パリは0.134ユーロ/3分、デュッセルドルフはCall Plus 0.1008ユーロ/3分、ストックホルムは0.912クローナ/3分、ソウルは39ウォン/3分。
- 3) 平日20時の料金について、ニューヨークは平日12時の料金と同様、ロンドンはUnlimited Weekend Plan 0.123ポンド/3分、パリは0.101ユーロ/3分、デュッセルドルフはCall Plus 0.0387ユーロ/3分、ストックホルムは0.636クローナ/3分、ソウルは平日12時の料金と同様。
- 4) 市内通話料金の対象区域の大きさは、都市毎に異なる。
- 5) 通信料金定額制などの各種料金プランがある場合であっても、他都市と比較するため、基本料金の比較で採用したプラン(月額基本料に通信料金を含まないプラン)の通信料金で比較。

【参考 多様な割引サービスの例】

通信距離、通話時間、着信先によらない料金プランの一例

都市	料金例(事業者)
東京	プラチナ・ライン(NTTコミュニケーションズ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月額無料 ・ 市内・県内市外一律8円/3分、県外一律15円/3分
ニューヨーク	Verizon Freedom Value(Verizon Communications) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月額42.99ドル(固定電話基本料含む。別途ユニバーサルサービス基金付加料金等が必要) ・ 国内電話等への通話が無料
ロンドン	Unlimited Anytime Plan(BT) <ul style="list-style-type: none"> ・ 四半期45.40ポンド(固定電話基本料含む) ・ 国内固定電話への通話が無料(1通話1時間まで)
パリ	Optimale illimité(FT) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月額32.61ユーロ(固定電話基本料含む) ・ 国内固定電話への通話・欧州・北米への国際通話が無料
デュッセルドルフ	Call Comfort(DT) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月額25.16ユーロ(固定電話基本料含む) ・ 国内固定電話への通話が無料
ストックホルム	Dygnet runt med tillval Till mobiler(TeliaSonera) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月額75.2クローナ(別途固定電話基本料が必要) ・ 国内固定電話への通話(全日)及びテリア社携帯電話(夜間)への通話が、通話分数に関係なく、0.552クローナ/1通話で可能
ソウル	全国統一料金制(KT) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月額無料(3年契約) ・ 市内・市外一律39ウォン/3分

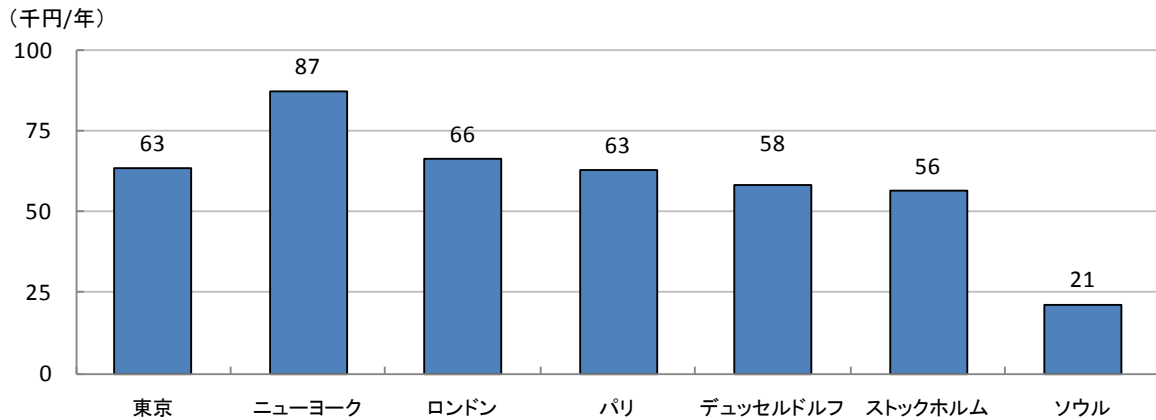
注)税別。他にも各種の料金プランがある。利用に当たり、各種の条件が存在する場合がある。

2) OECDモデルによる比較

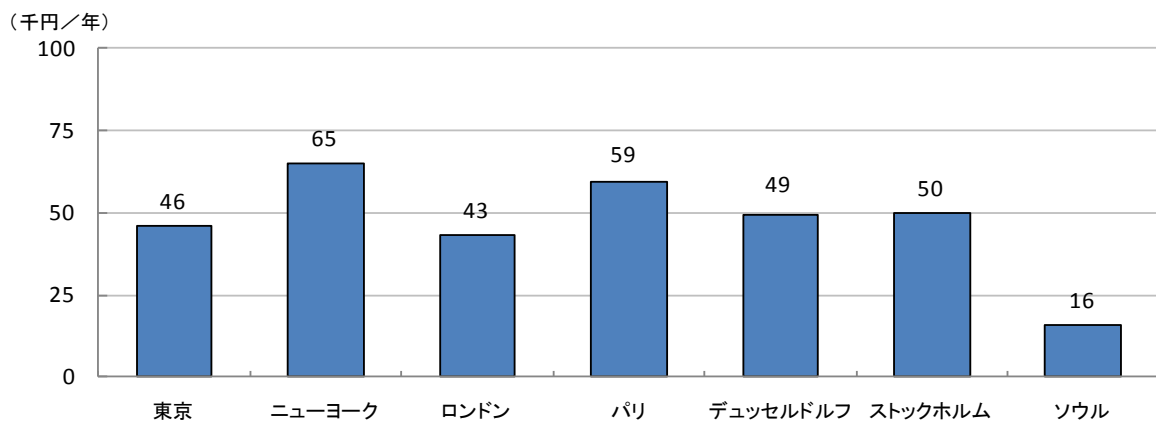
- 住宅用について、東京は、通常料金、割引料金ともに平均的な水準である。
- 事務用についても住宅用と同様に、東京は、通常料金、割引料金ともに平均的な水準である。

(1) 住宅用

通常料金



割引料金

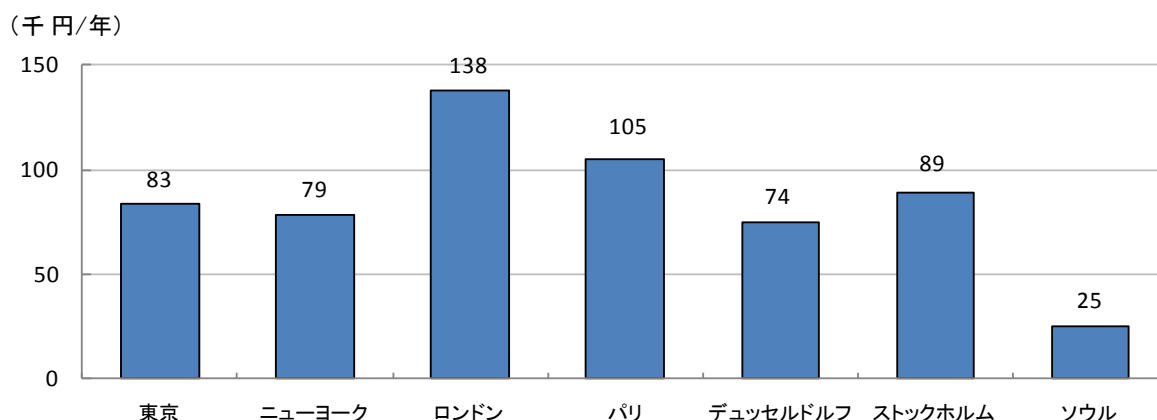


注1) OECDが各国の電話料金を比較するために距離帯、時間帯別、固定網又は携帯網への通話等別に、通話回数、通話時間を設定した仮想の利用形態(モデル)に従って国内電話を利用した場合に要する料金で比較。住宅用OECDモデルでは、1日平均で市内:約2回 計8分、市外:約0.5回 計3分、携帯電話へ約0.8回 計1.5分通話をする設定。

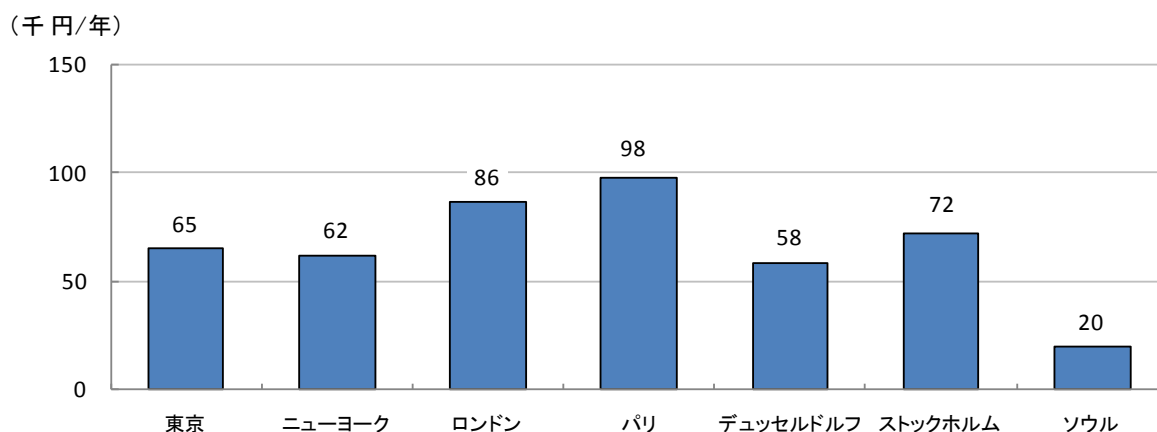
- 2) 通常料金は、個別料金と同様のプランを適用。
- 3) 東京の割引料金は、プラチナ・ライン(全ての距離区分についてマイラインプラス登録が必要。月額無料、県内8円/3分、県間15円/3分)を適用。
- 4) ニューヨークの割引料金は、Sensible Minute(月額2.99ドル、州内市外0.3ドル/3分)及びTalk time60(月額9.00ドル、60分/月までの州内・州際通話を含む)を適用。
- 5) ロンドンの割引料金は、Unlimited Anytime Plan + inclusive Friends & Family Mobile(12 month renewable contract)(12ヶ月契約、月額15.13ポンド、基本料を含む、国内固定電話への通話が無料、携帯電話への通話が最大33%引)を適用。
- 6) パリの割引料金は、Optimale 2h fixes France(月額15.9ユーロ、基本料を含む、120分/月までの国内固定電話への通話を含む)を適用。
- 7) デュッセルドルフの割引料金は、Call Basic(月額16.76ユーロ、基本料を含む、120分/月までの国内固定電話への通話を含む)及びFestnetz zu Mobil(携帯電話への通話3.45ユーロ/月以上の利用で通話料を割引)を適用。
- 8) スtockホルムの割引料金は、Kväll & helg(月額24クローナで割安な料金を適用)を適用。
- 9) ソウルの割引料金は、全国統一料金制(3年契約が必要。月額無料、市内・市外一律39ウォン/3分)を適用。

(2) 事務用

通常料金



割引料金



注1) 事務用OECDモデルでは、1日平均で市内:約5回 計9分、市外:約1回 計3分、携帯電話へ:約2回 計3分通話をする設定。

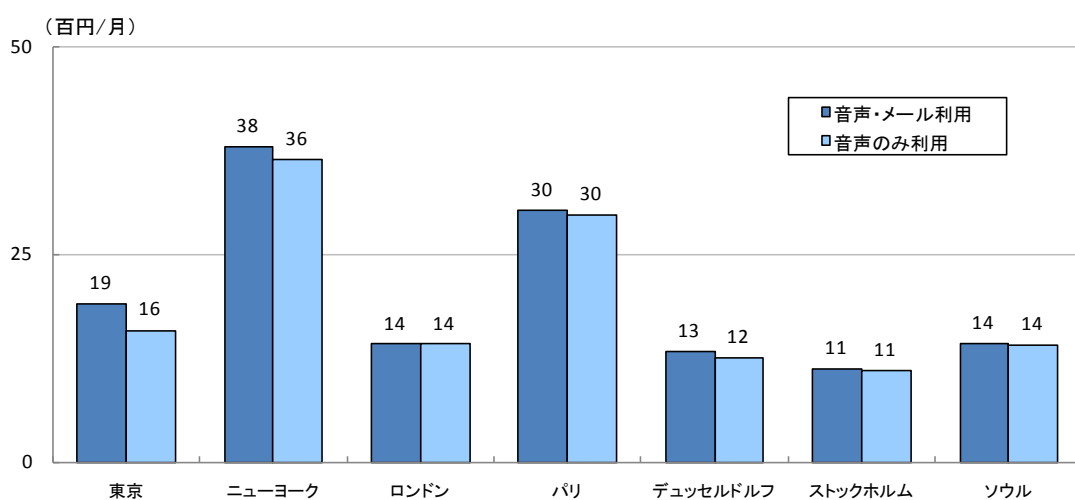
- 2) 通常料金は、個別料金と同様のプランを適用。
- 3) 東京の割引料金は、プラチナ・ラインを適用。
- 4) ニューヨークの割引料金は、FirmRate advantage Plus(3年契約、長距離通話5ドル/月以上の利用で通話料を割引)を適用。
- 5) ロンドンの割引料金は、BT business Plan(Tailored Option)(通話料250ポンド/年以上の利用で、市内・市外・携帯電話への通話料金を割引)を適用。
- 6) パリの割引料金は、Optimale pro illimité 1h(月額50ユーロ、基本料を含む、国内固定電話への通話が無料、60分/月までの携帯電話への通話・一部の国際通話を含む)を適用。
- 7) デュッセルドルフの割引料金は、Call Basic(月額16.76ユーロ、基本料を含む、120分/月までの国内固定電話への通話を含む)及びFestnetz zu Mobil(携帯電話への通話3.45ユーロ/月以上の利用で通話料を割引)を適用。
- 8) スtockホルムの割引料金は、Dygnnet runt(月額52クローナ、国内固定電話、TeliaSonera社携帯電話への通話(夜間)に割安な通話料金を適用)を適用。
- 9) ソウルの割引料金は、全国統一料金制(3年契約が必要。月額無料、市内・市外一律39ウォン/3分)を適用

3 携帯電話(東京モデルによる比較)

- 低利用者では、ニューヨークが最も高く、東京は平均的な水準である。
- 中利用者では、ニューヨークが最も高く、東京はパリ、デュッセルドルフに次いで高い水準にある。
- 高利用者では、東京が最も高い水準にある(購買力平価で比較するとニューヨーク、ソウルに次ぐ水準にある)。

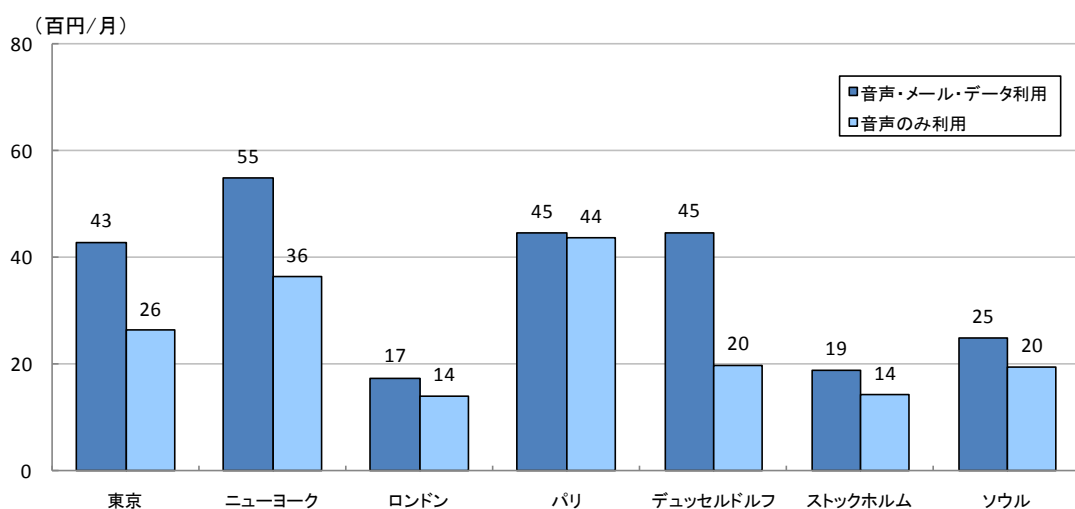
1) 低利用者

(音声月 44 分・メール月 7 通(うち発信 3 通)・データ利用なし)



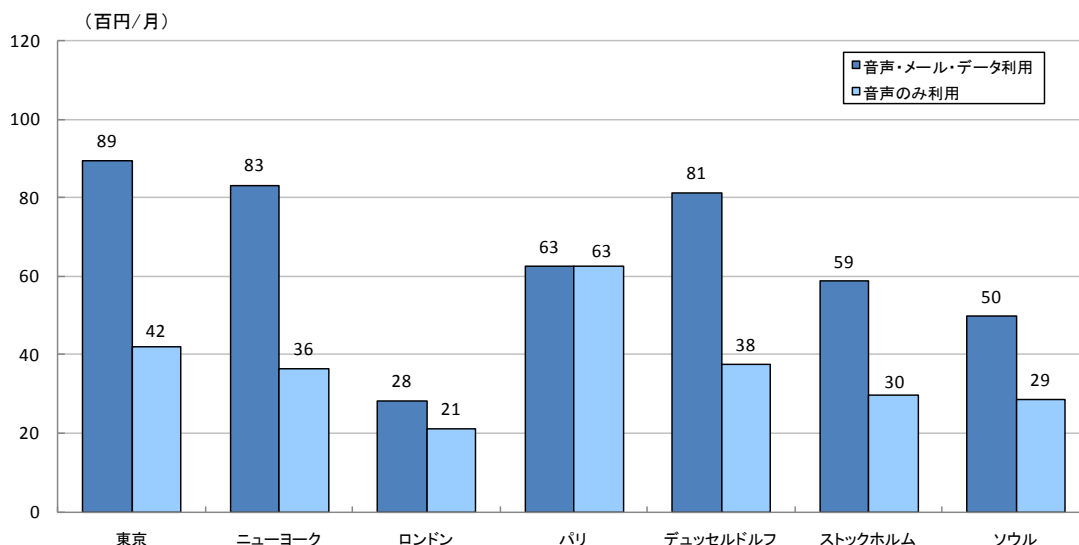
2) 中利用者

(音声月 99 分・メール月 355 通(うち発信 140 通)・データ月 16,000 パケット)



3) 高利用者

(音声月 246 分・メール月 620 通(うち発信 235 通)・データ定額制料金利用)



- 注1) OECDにおいても携帯電話の料金比較モデルを設定しているが、我が国の利用実態をより適切に反映し、音声、メール、インターネット接続を利用した場合の料金について比較するため、我が国の携帯電話の利用実態を基に設定した東京モデルを採用。
- いずれも一般消費者向け料金。プリペイド型の携帯電話のプランを除き、利用地域・相手先や年齢等、利用者に特に制限のない通話プランを対象として比較。オンラインでの申し込み・ビリング等の割引は除く(ストックホルムは請求書送付に別途19クローナが必要)。
 - 音声については、平成20年度の我が国の携帯電話の距離別、時間帯別、着信先別の平均利用実績に基づいた利用形態に従って携帯電話を利用した場合に要する最も低廉な料金で比較。
 - メールについては、携帯電話端末からの利用とし、各都市での一般的な利用方法に合わせ、東京はiモードメール(テキストのみで、写真や動画付きのメールは除く)、他の都市はショートメッセージ(SMS)の利用を想定して最も低廉な料金で比較。
 - メールの利用数は、低利用者は、「ほとんど使わない」ユーザーを想定し、平成21年度電気通信サービスモニターに対する第1回アンケート調査結果(総務省、2010年)から、「週5通未満」の利用者のメール利用通数の平均から設定。中利用者は平均的な利用者を想定し、ケータイ白書2010(モバイル・コンテンツ・フォーラム監修、インプレスR&D、2009年12月)の調査結果を電気通信サービスモニターに対する第1回アンケート調査結果で修正した平均通数から設定。高利用者は、データ定額制料金の利用者を想定し、ケータイ白書2010から、データ定額利用者割合相当のメール利用上位のユーザーの平均送受信数から設定。
 - 東京とニューヨーク以外の各都市では、メールの受信は無料。
 - データ利用パケット数は、総務省Webアンケート調査を基に、中利用者は月16,000パケット(データ利用が極端に多い一部利用者を除く利用者の平均。メール利用分のパケット数を含む)、低利用者はメールを除きパケットサービスを利用しない利用者を想定、高利用者はデータ定額制料金の利用者を設定。
 - データ利用に関しては、携帯電話端末のみでの利用とし、PDAやパソコン接続による利用は除く。原則として、データ閲覧・ダウンロード利用を想定して料金を算出(VOD等の利用は、別途課金が行われる都市もあり、この場合上記料金と異なる)。また、通信料とコンテンツ料金込みで課金が行われる場合や、一部のサイトについて定額制料金が適用される場合もあり、これらの場合上記料金と異なる。
 - ストックホルム高利用者のプランは月間10GBまで利用可能な定額制の料金プランである。ソウルは、ダウンロードするデータの種類(VOD等)により従量料金が異なるが、高利用者のプランは月間2GBまで利用可能な定額制の料金プランである。

10) 音声のみ利用の場合の料金については、最も低廉なプランの料金を表示。なお、ロンドンには音声のほかにSMSの無料利用分が、パリの高利用者は料金プランに音声のほかにデータの無料利用分が含まれている。

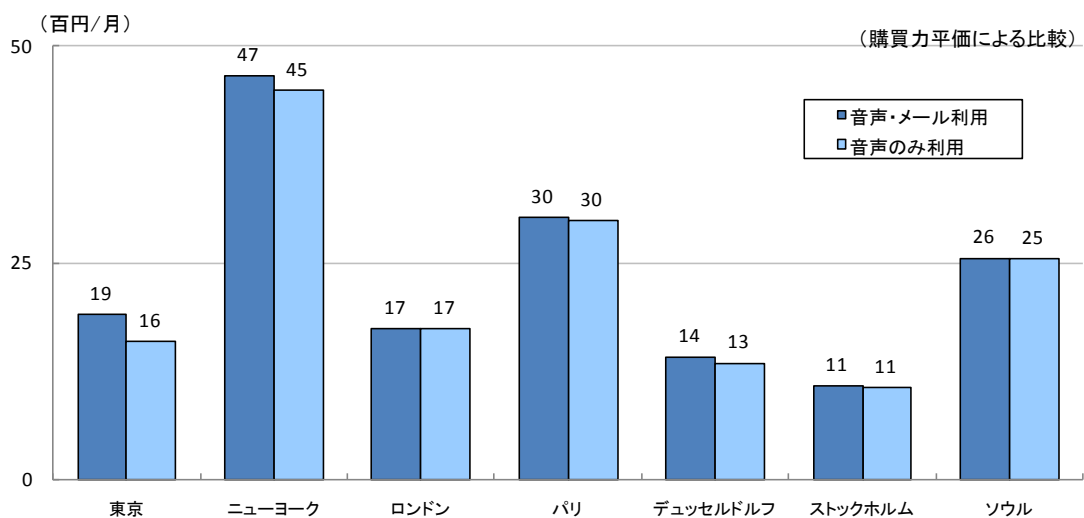
11) 各都市の料金プランは以下のとおり。

都市(事業者)	モデル	料金プラン
東京 (NTTドコモ)	低利用者	タイプSバリュー、iモード基本料315円 ※ユニバーサルサービス利用料を含む。ファミ割MAX50適用(中利用者、高利用者も同じ)。
	中利用者	タイプMバリュー、パケホーダイダブル、iモード基本料
	高利用者	タイプLバリュー、パケホーダイダブル、iモード基本料
ニューヨーク (Verizon)	低利用者	NationwideTalk Family SharePlan- 700の1名分
	中利用者	NationwideTalk & Text Family SharePlan - 700の1名分 「音声のみ利用の場合」は、NationwideTalk Family SharePlan- 700の1名分
	高利用者	NationwideTalk & Text Family SharePlan - 700とUnlimited Data & Web with Mobile Emailの1名分 「音声のみ利用の場合」は、NationwideTalk Family SharePlan- 700の1名分
ロンドン (Vodafone)	低利用者	Anytime(通話100分、SMS500通のプラン)
	中利用者	Anytime(通話100分、SMS500通のプラン)
	高利用者	Anytime(通話300分、SMS無制限のプラン)、Mobile Internet and email Pack(長期契約)
パリ (Orange France)	低利用者	Initial
	中利用者	Origami star 1h 「音声のみ利用の場合」はOrigami zen 2h
	高利用者	Origami star 3h
デュッセルドルフ (T-Mobile)	低利用者	Relax60
	中利用者	Relax60、Messaging M、Data5
	高利用者	Relax240、Messaging L、Web' n' walk HandyFlat
ストックホルム (TeliaSonera)	低利用者	Telia Mobil Prata på
	中利用者	Telia Mobil Max 25+Mobilsurf Bas 「音声のみ利用の場合」は、Telia Mobil Prata på
	高利用者	Telia Mobil Max 25、Mobilsurf Extra+ 「音声のみ利用の場合」は、Telia Mobil Prata på
ソウル (SK Telecom)	低利用者	Standard、家族割引
	中利用者	Standard、Message Lite、データ35、家族割引
	高利用者	無料音声35、Message Lite、安心データ190、家族割引

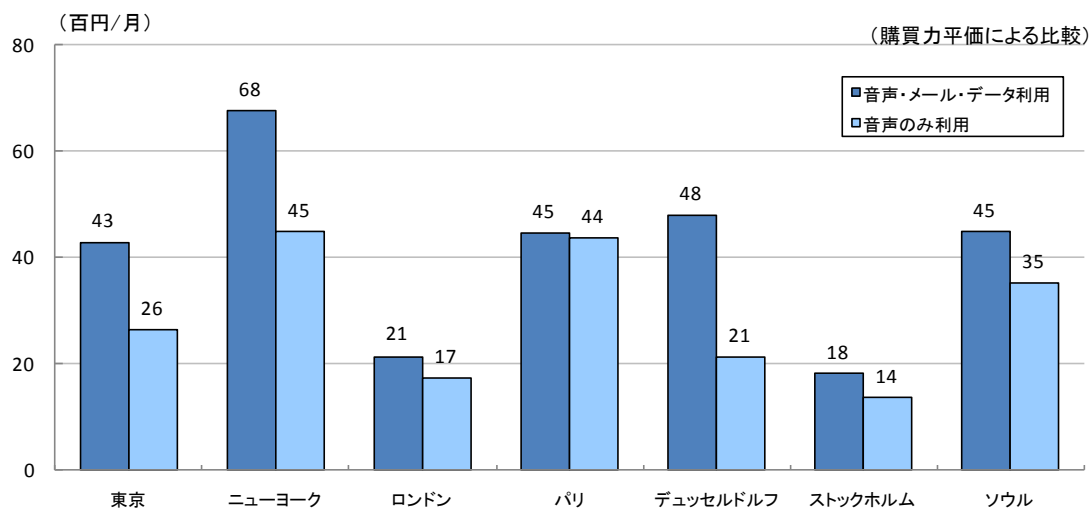
注: 無料分を超過した場合は、超過分の料金を含む。

【参考 購買力平価による比較】

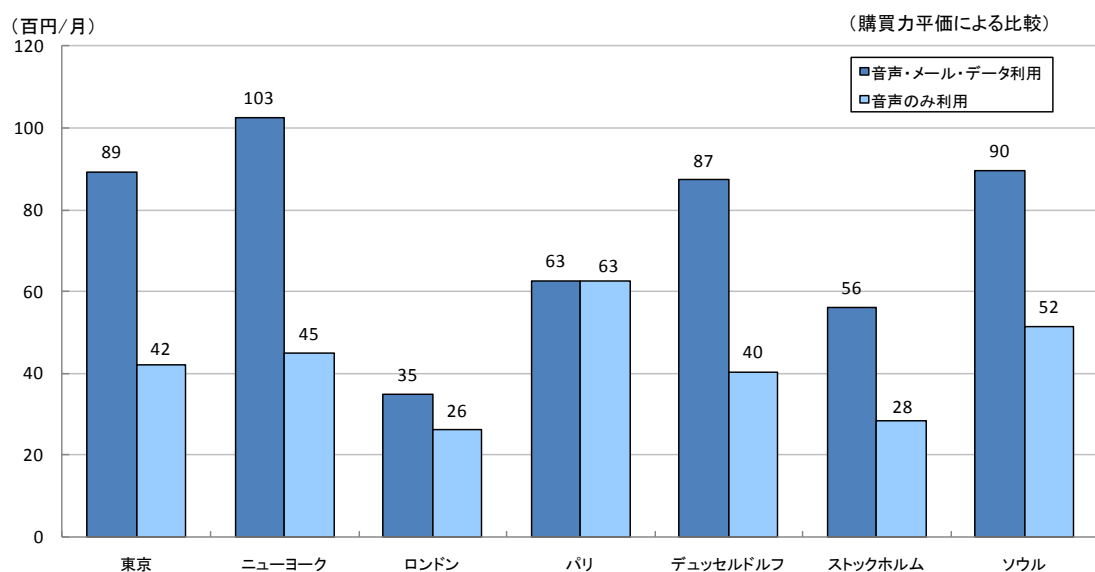
低利用者



中利用者



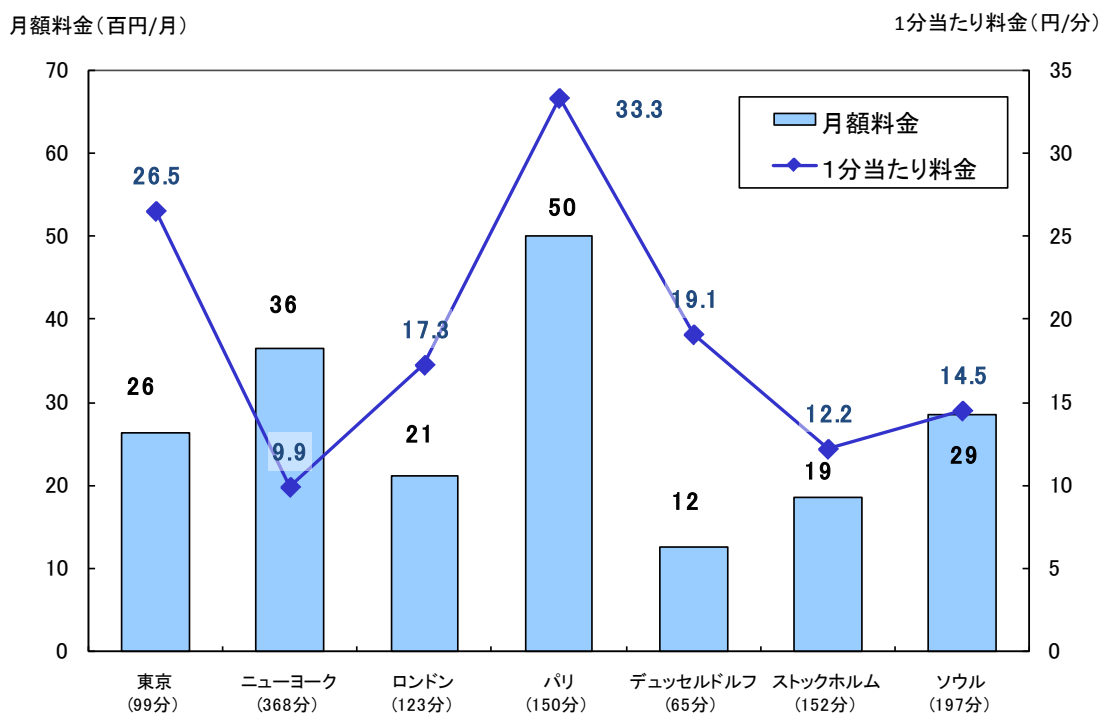
高利用者



【参考 各国の平均的な利用分数による料金比較】

- 各都市における携帯電話の使用実態は大きく異なっているため、一定の通話分数を設定したモデルによる比較に加え、各国の平均的な利用分数を踏まえた料金を比較。
- 平均的な利用分数の最も少ないデュッセルドルフが最も安く、次いでストックホルム、ロンドンが安い。東京は平均的な水準である。
- ただし、1分当たりの料金に換算すると、ニューヨーク、ストックホルム、ソウルが安く、東京は高い水準にある。

各国の平均的な利用分数による料金比較



注1) 携帯電話料金の比較に当たって、一定のモデルを採用すると、同じ利用分数等の場合に要する料金を比較することができるが、各国における携帯電話の利用分数等は大きく異なることから、モデルにより算定した料金は、それぞれの都市における平均的な利用者の負担額から乖離している場合もある。そこで、各都市の標準的な利用者の料金水準を比較するため、各国における1契約当たりの月間平均利用分数に係る最も低廉な料金で比較。

2) 比較に当たっては、音声のみを利用した場合の料金を比較。

3) 各国における1契約当たりの月間平均利用分数は、ニューヨークを除き、各都市とも、携帯電話発信の利用分数。ニューヨークについては、携帯電話発信及び携帯電話着信の合計分数の1/2。

4) 各都市の料金プラン及び各国における1契約当たりの月間平均利用分数の出典は次ページのとおり。

各都市の料金プラン

都市(事業者)	料金プラン	利用分数の出典
東京 (NTTドコモ)	タイプ M バリュー (ファミ割MAX50 適用)	総務省、トラヒックからみたわが国の通信利用状況(平成 20 年における利用状況)
ニューヨーク (Verizon)	Nationwide Talk Family SharePlan - 700 の 1 名分	FCC、14th Mobile Wireless Competition Report
ロンドン (Vodafone)	Anytime(通話 300 分、SMS 無制限、15 ポンドのプラン)	Ofcom、The Communications Market 2009
パリ (Orange France)	origami Star 2h	ARCEP、Annual Report 2008
デュッセルドルフ (T-Mobile)	Relax 60	Bundesnetzagentur、Annual Report 2008
ストックホルム (TeliaSonera)	Telia Mobil Prata på	SIKA、Televerksamhet 2008
ソウル (SK Telecom)	無料音声 35 家族割引	SK Telecom、Annual Report 2009

注: 無料分を超過した場合は、超過分の料金を含む。

【参考 FMC サービスの料金】

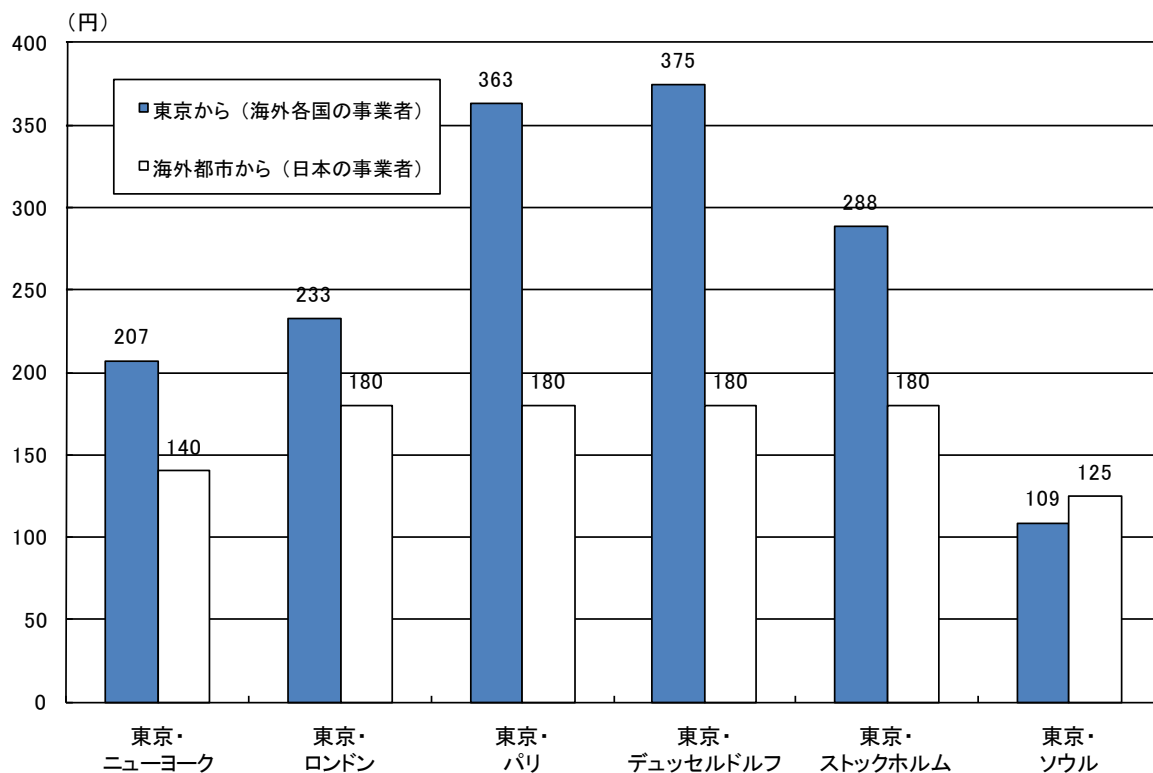
FMCサービスの例

都市	商品・方式 (事業者)	月額 料金	特徴
東京	ホームU 無線 LAN (NTT ドコモ)	490 円 (税込)	市販の無線 LAN 機器(ホームU対応)と対応する携帯端末を利用。ホームUエリア内では、高速データ通信の利用が可能。音声通話が契約しているプランの 30%引き、携帯電話端末からの i モード利用が無料、ホームU間の通話が無料。
	マイエリア フェムトセル (NTT ドコモ)	980 円 ファミ割 MAX50 加 入時 490 円(税込)	NTT ドコモ専用の家庭内に設置可能な携帯電話の超小型基地局を用い、携帯端末を利用し通信を行う。初期費用 2100 円。登録した端末のみの利用となることから、高速なパケット通信が可能。
パリ	UNIK 無線 LAN (Orange France)	14 ユーロ (税込)	FT のブロードバンドサービス用無線 LAN 機器 Live Box と対応する携帯端末を利用。UNIK エリア内では高速データ通信の利用が可能。国内固定電話、自社携帯電話への通話及び携帯電話端末からのデータ利用が無料。
ロンドン	Vodafone フェムトセル Sure Signal (Vodafone)	なし	Vodafone 専用の、家庭内に設置可能な携帯電話の超小型基地局を用い、携帯端末を利用して、通信を行う。機器価格は 50 ポンドから。料金割引、月額料金ともにならないが、圏外の解消に役立つ。
ニューヨーク	Verizon Wireless Network Extender フェムトセル (Verizon)	なし	Verizon Wireless 専用の、家庭内に設置可能な携帯電話の超小型基地局を用い、携帯端末を利用して、音声通話を行う。機器価格は 249.99 ドル。料金割引、月額料金ともにならないが、圏外の解消に役立つ。
ストックホルム	Telia Home Free 無線 LAN (Telia)	199 クロー ナ(税込)	無線 LAN 機器と対応する携帯端末を利用。家庭内のエリア内では高速データ通信の利用が可能。国内固定電話、自社携帯電話への通話が割安で利用可能。
ソウル	TB Phone 無線 LAN (SK Telecom)	2,200 ウォ ン(税込) その他プ ランあり	無線 LAN 機器と対応携帯端末を利用。家庭内のエリア内では VoIP(市内/市外通話料 38 ウォン/3 分、携帯への通話料 11.7 ウォン/10 秒)と、無料 Internet の利用が可能。

注1) 通常の携帯電話のサービスに加え、無線LAN又はフェムトセルにより、携帯電話端末から自宅の固定ブロードバンド回線を利用した音声通話、高速データ通信を行うサービスの料金を掲載。

【参考 国際ローミングサービスの料金(1分間通話時のモデル料金)】

国際ローミングサービスを利用した場合の料金(1分通話時のモデル料金)



注1) 携帯電話を海外に持ち出し母国の各都市宛に音声通話で1分間発信した場合の発信者にかかる料金総額。

東京から: 海外各国の事業者の携帯電話を東京に持ち込み、母国各都市に発信した場合の費用

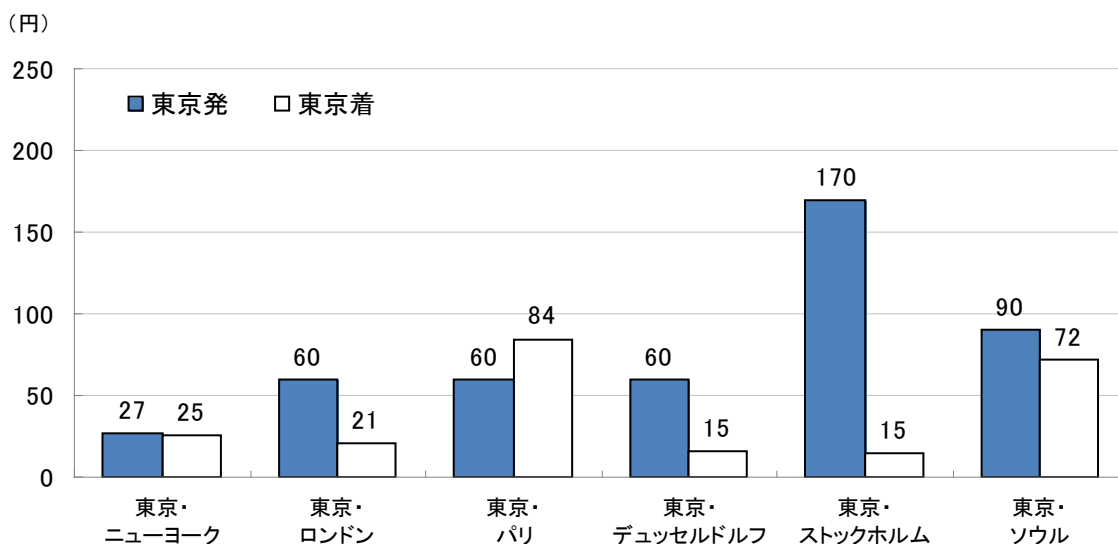
海外都市から: 日本の事業者の携帯電話を海外各都市に持ち出し、東京に発信した場合の費用

2) 特記のない限り、各都市とも、曜日・時間帯による料金差はない。セットアップ料金が必要な場合は加算し、1分間通話した場合の費用総額をモデル計算している。

4 国際電話(個別料金による比較)

- 国際電話料金については、東京ーパリ間を除き、東京から各都市に通話する料金の方が、各都市から東京に通話するより高い。

通話料金(3分間に換算)



- 注1) 国際電話は、通常料金以外の各種プランの利用が一般的であるため、各都市における最も低廉な割引料金で比較。
- 2) 特記のない限り、各都市とも、時間帯による料金差はない。
- 3) 東京発ストックホルムは、NTTコミュニケーションズの「国際セレクトーク」(深夜・早朝の料金、平日50%引き)。その他の東京発は、NTTコミュニケーションズの「世界割 with プラチナ・ライン」。
- 4) ニューヨーク発は、AT&T Worldwide Value Calling(月額定額料5.00ドル、0.09ドル/分)。
ロンドン発は、Friends & Family International(定額料四半期2.52ポンド、2.127ペンス/分、加えてセットアップ料金8.42ペンス/1通話)。
パリ発は、Option Plus / Les Heures(月額定額料無料、0.67ユーロ/3分)。
デュッセルドルフ発は、Call Start(0.124ユーロ/3分)。
ストックホルム発は、Utland(月額定額料12クローナ、0.20クローナ/分、加えてセットアップ料金0.55クローナ/1通話)。
韓国発は、001 special DC plus(290ウォン/分)。